資料2

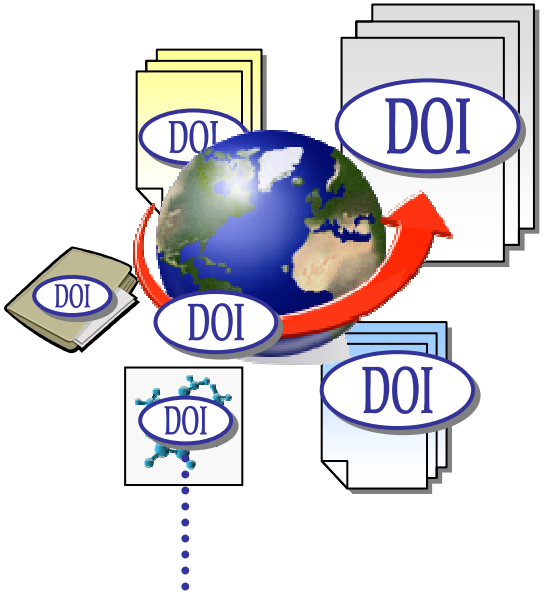
JaLC DOIについて

・・J-STAGE全記事DOI登録へ

独立行政法人 科学技術振興機構
知識基盤情報部電子ジャーナル担当
平成25年1月

国際発信・流通促進と恒久的アクセスのために

What's **DOI** *for you?*



電子的な学術コンテンツ
に付される永続的ID

簡単に検索・発見！

・世界で数千万件の学術コンテンツが登録済み。**学術コンテンツの固有ID**！

・限られた機関（Registration Agency; RA）しか発行できない

↓

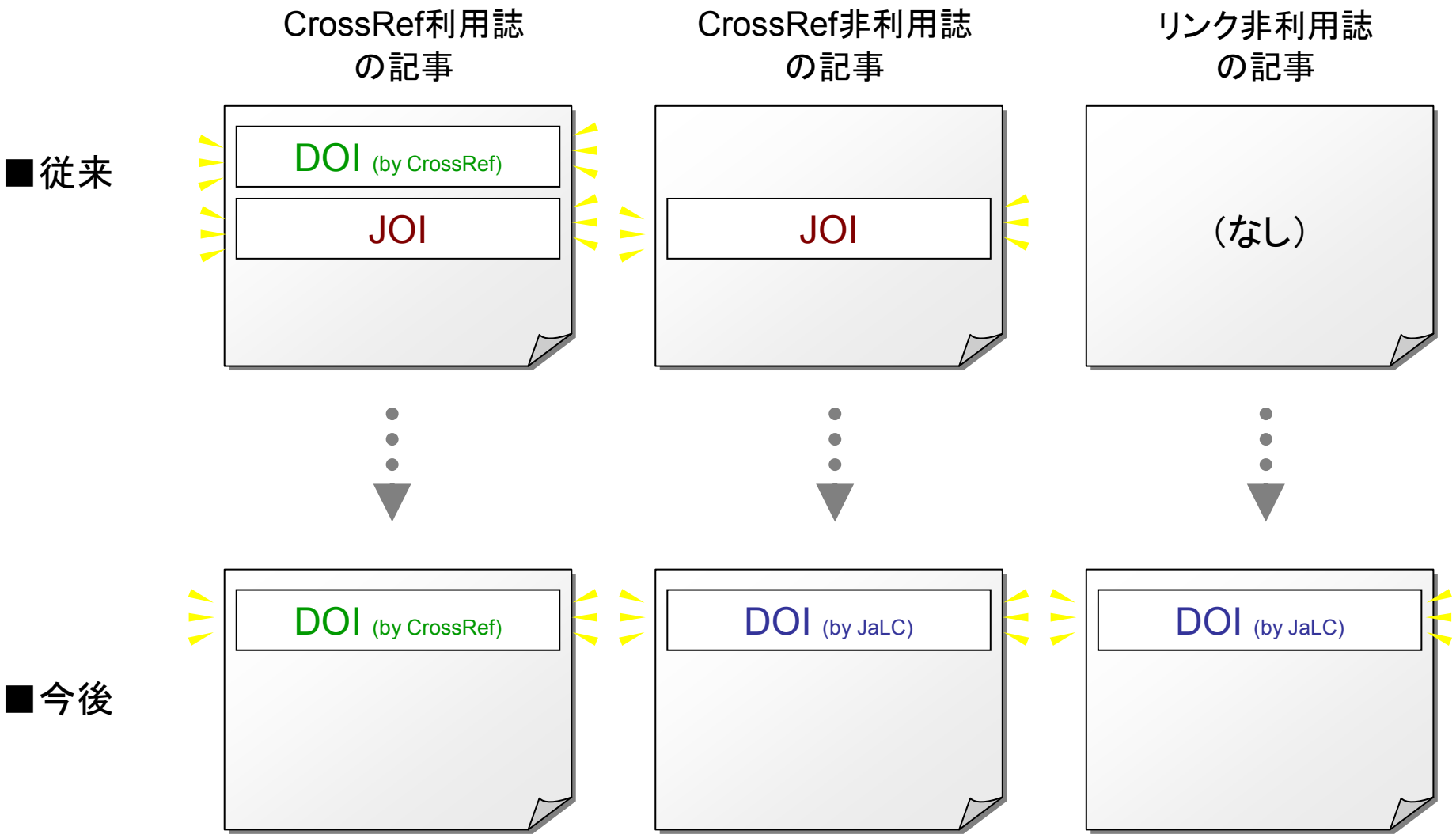
2012年3月、ジャパンリンクセンター(JaLC)がRA（世界で9つめ）となり、JaLCを介して、J-STAGE掲載コンテンツに独自にDOIを発行することが可能に（費用・作業等はJSTが負担）

概要

- J-STAGEでは、これまで登載記事の識別子としてJOI（JST Object Identifier）とCrossRef DOI（Digital Object Identifier）の２種類を付与、提供してきました。
- 2012年３月にJ-STAGEと連携している**ジャパンリンクセンター（以下、JaLC）**がDOI登録機関となり、このたびDOI付与機能の実装が完了したことを受け、J-STAGEではこれまで登録してきたJOIに代わり、JaLC DOI登録を行うことになりました。DOIシステムは国際規格であるISOに承認されており、世界各国ですでに約6000万件のコンテンツに使われている識別子です。**J-STAGEの全記事にDOIが付与されることにより、国内外からの国内学術論文への恒久的なアクセスが保証され、より多くのアクセスを確保することが期待されます。**
- なお、これまでCrossRef DOIを登録してきた資料および新規にJ-STAGEに登載される英文誌については、引き続きCrossRef DOIを登録してまいります。
- **連携運用についての費用は、JSTが負担いたします。**

Welcome to JaLC!
3
Japan Link Center & J-STAGE

DOIの付与



※ただし、予稿集等は計画中

※現行JOIのサポートは今後も継続いたします。

JaLC DOI登録対象記事

現在、CrossRefを利用されていないジャーナルの記事には、原則としてJaLC DOIが付与されます。

１）カレント分（新規登載データ）（ CrossRef非利用誌）

①J-STAGE既登載誌で平成25年3月以降に登載作業を行った新規巻号の全記事
②平成25年3月以降に新たにJ-STAGEに新規登載されるジャーナルの全記事

２）過去分（バックデータ）（CrossRef非利用誌）
以下のいずれの条件も満たす、J-STAGE登載済み記事。（旧Journal@rchive対象含む）。
①CrossRef DOIが付与されていないもの（英文誌、和文誌、混在誌）
②ジャーナルの全記事

下記の場合は、対象外とします。

①学協会が特にJaLC DOI付与を希望されない場合（オプトアウトを希望の場合）
学協会独自、あるいは商業出版社経由等ですでにDOIを保有している場合、あるいは将来的にCrossRef DOIの付与を検討している英文誌または混在誌など。（今回、過去分を含め新たにCrossRef DOIの付与を受け付けるものではありません。CrossRef DOIの付与の申請については別途、お問い合わせください）
オプトアウトされる場合は別紙の「オプトアウト申請について」を参照してください。

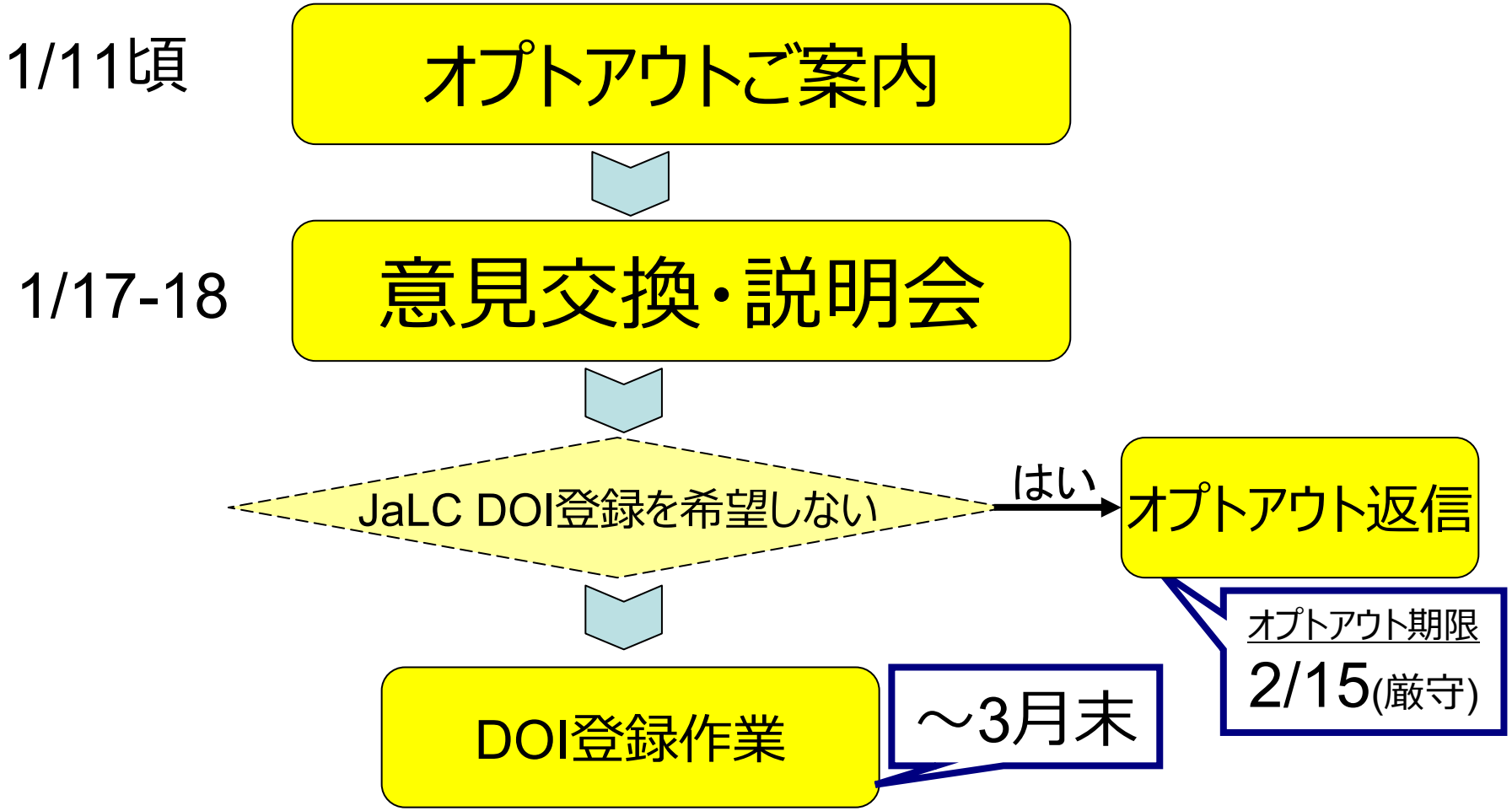
②予稿集等
予稿集記事については次年度以降、順次DOI登録を実施の予定です。

なお、J-STAGE既登載誌の記事については、平成25年2月～3月にJSTにて一括JaLC DOIを付与する予定です。

手続き等（１）

- J-STAGEにおけるDOI登録等のサービスは、JaLCを通して提供されます。サービスの運用上は、J-STAGEはJaLCの利用機関（正会員）という位置づけとなります。J-STAGE利用学協会様は、利用機関（正会員）を通してJaLCを利用する機関（準会員）という形になります。
- J-STAGE利用学協会様はJaLCの趣旨につきご理解いただくほかには、運用上特別の作業・負担は基本的に発生いたしません。また、DOI登録に関わる費用は正会員（準会員取りまとめ機関）としてJSTが負担いたしますので、学協会様への新たな経費負担はございませんが、**JaLC DOIの登録に関して、学協会様とJST間で覚書の締結をお願いします。これについては後日、ご案内いたします。**
- JaLC連携は、電子ジャーナルの基本的サービスとしてJ-STAGEが提供するものですが、特に個別事由のある場合等、**JaLC DOI登録を希望されない場合には、オプトアウトフォームのご記入・ご提出をお願いいたします。**
- なお、JaLCとの連携に当たり、J-STAGE利用規約も一部改正させていただく予定です。（詳細は別途ご案内させていただきます。）

手続き等（2）



※新規にDOI登録対象誌となる場合、別途覚書を締結していただきます。

ご注意

- コンテンツ管理の一貫性や記事相互の関連性の観点から、JaLC DOI登録対象誌を途中からCrossRef DOI登録対象誌に切り替えること（その逆も）はできません。

- また、同様に、ひとつの資料の中でCrossRef DOIとJaLC DOIを混在して登録することもできません。

JaLC DOI登録について

- JaLC DOIについてもDOI登録については、CrossRef DOIと同様です。
- 学協会様ごとにDOIプレフィックスを登録し、今後（※）公開する記事のサフィックスは学協会様にて決めていただけます。
  - 巻号ページによるルール
  - 論文番号によるルール
- すでにJ-STAGEで公開されている記事については、JOIからDOIを以下のように生成して登録いたします。

例1）

JOIが DN/JST.JSTAGE/genryu/20.334　の場合

DOIは　10.xxxxx/genryu.20.334 となります。（巻ページで付番）

例2)

JOIがDN/JST.JSTAGE/genryu/AE00001 の場合

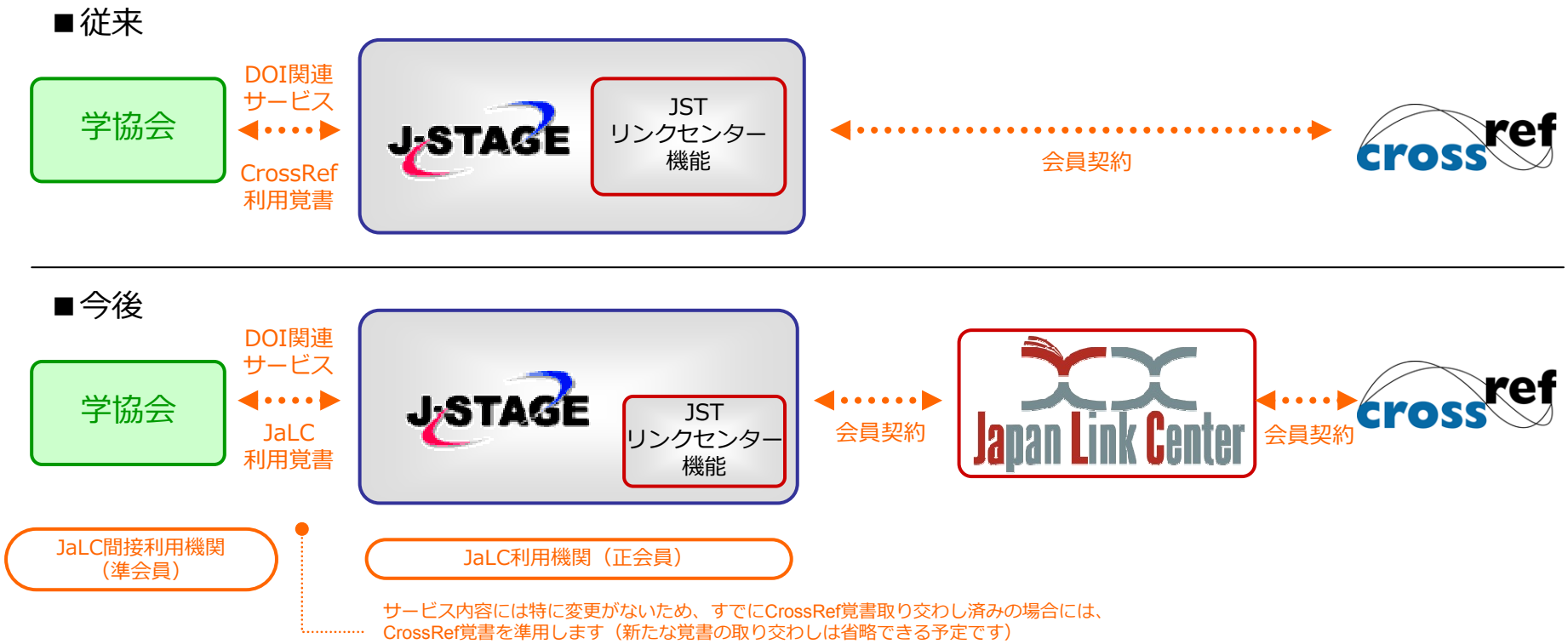
DOIは 10.xxxxx/genryu.AE00001 となります。（論文番号で付番）

※2013/3/1以降で登載される記事からJaLC DOI登録を開始する予定です。
（対象誌について）

すでにCrossRef連携をご利用の雑誌について

現在、CrossRef利用中のジャーナルは、JaLC経由でCrossRefと連携します（サービス内容に変更はありません）。

●サービスの多様化等に柔軟に対応するため、また、国内のDOIニーズへの対応という観点からCrossRefを直接利用するのはJaLCであり、J-STAGEはJaLCを利用する機関の１つという位置づけになります。CrossCheck等のサービスもこれまでどおりご利用いただけます。



オプトアウトが必要なジャーナル（まとめ）

- オプトアウトはジャーナル単位で行っていただきます。

CrossRef利用状況	今後の予定	オプトアウト要否
CrossRef利用中	J-STAGEでCrossRef利用中（覚書締結済み）【標準パターン】	不要
	J-STAGE以外でCrossRef利用中	要
CrossRef未利用	今後CrossRefでDOI登録予定	要
	今後JaLCでDOI登録予定【標準パターン】	不要

記事へのリンクポリシーについて

- 新規登載記事については、DOIをご利用いただくようお願いいたします。（リンクポリシーを改訂します）

- なお、これまで登録されたJOIについては継続してサポートいたします。

CrossRef DOIとJaLC DOIについて

●DOIとしてはどちらも同じです

“http://dx.doi.org/”をDOI文字列の前に置くことで当該コンテンツのURIになる、という点も同じです。書誌情報からDOIを検索するサービスは個々のDOI登録機関ごとに用意されています。JaLC DOIをCrossRefで検索することはできませんが、CrossRefのDOIをJaLCから検索することは可能です（CrossRefとJaLC間の契約による）。

●JaLCは和文誌向けに開発されています

CrossRef DOIは現在主に欧米をはじめとする国々のおもに英文ジャーナルの論文データが登録されています。そのため、英文書誌を持つジャーナルであれば、登録した論文のDOIがCrossRef参加出版社によって検索される可能性があります。日本語論文については、JaLC DOIによりJaLC利用機関が日本語書誌によりDOIを検索してリンク生成することにより、閲覧可能性が増します。

●CrossRefのオプションサービスについて

CrossRefの提供しているCrossCheckなどのサービスはCrossRef DOIのオプションサービスであるため、JaLC DOIを登録した論文については対象外となります。なお、CrossCheckを提供しているiParadigms社と協議し、J-STAGEのオプションサービスとして日本語論文の剽窃検知サービスを構築する予定です。検知対象としては、CrossCheckに登録されている論文も対象となる予定です。